

西成東小では、「対話と協働」をキーワードに、子どもたちの笑顔のためにPTA活動を行っています。学校運営協議会やおやじの会など、地域のかたがたと協力して取り組む行事が多く、皆でワイワイ楽しく活動をしています。

中でも、最大の行事は1月の「もちつき大会」。地域のかたがたのお力添えを得て育てたもち米を使って、体育館で餅つきをし、全校児童でいただきます。



つき手とかえし手の呼吸はぴったりで、おいしいお餅がつき上がっていきます。

「おやつは、こんな時間に食べるといいだね。」たくさんのお発見がありました。



餅を蒸す人、つく人、かえず人と多くのかたがボランティアとして参加し、餅をつくたびに、「よいしょ、よいしょ。」と威勢のよいかけ声が響きわたります。西成東小地区が一つになる行事です。

また、家庭教育講座では子どもとの関わり方についてお話を聞き、給食試食会では体によいおやつの取り方を実際に体験しました。「小さい時の味覚づくりの大切さがわかった。」などの感想が聞かれました。

ボランティア活動も盛んで、おやじの会による「流しそうめん大会」や「読み聞かせ」もあります。参加者からは、「大変だと思ったけれど、子どもたちや先生がたと多く接することができて楽しかった。」という言葉がありました。

今後も地域・学校のかけ橋になっていきます。

「楽しいね。」と1年生。読み聞かせグループの皆さんが本の楽しさを紹介しています。



おやじの会のかたがたの手作りの流しそうめんの道具で、夏の暑さもやわらぎました。



**DATA** 所在地 ●一宮市春明、中切1 児童数 ●359人 周辺環境 ●一宮市の北東部に位置し、江南市と接する。濃尾平野の豊かな実りに恵まれた地域にある。歴史的にも尾張の英傑が合戦を繰り広げた場所であり、戦国時代の城跡も残されている。伝統的な行事も多く、地域と学校のつながりが強い。